

## P-Life Japan Inc. ニュースリリース

2025年12月9日

### P-Life Japan、ブラジル開催のCOP30にて「P-Life」技術の革新性を講演 ～慶應義塾大学との共同研究成果を世界へ発信、大盛況のうちに終了～

P-Life Japan Inc. 株式会社(本社:東京都、CEO:富山 績、以下「当社」)は、2025年11月にブラジル・ベレンで開催された「国連気候変動枠組条約第30回締約国会議(COP30)」において、当社グローバル・コマーシャルディレクターのブルーナ・フォルスター(Bruna Folster)が登壇し、講演が大盛況のうちに終了しましたことをご報告いたします。

本講演は、ブラジル・アマパ州政府の招聘により実現し、現地時間11月13日午前10時30分より行われました。「世界最大の気候変動イベント」とも称される本会議において、会場は多くの聴衆で満席となり、高い関心が寄せられる中、フォルスターは「生分解性、イノベーション、そして持続可能性」をテーマに、P-Life 技術がもたらすプラスチック問題への解決策について発表を行いました。

#### ■ 講演のハイライト:科学的根拠に基づく「真の生分解」への高い関心

講演の中で最も注目を集めたのは、難分解性プラスチックに対するP-Life添加剤の有効性に関する発表でした。

慶應義塾大学理工学部・宮本憲二教授との共同研究成果および国際試験機関による実証データを用い、P-Lifeが実現する「プラスチックの微生物分解」に関する科学的根拠(エビデンス)を提示した際には、会場から大きな反響があり、科学的アプローチによる解決策への期待の高さが伺えました。

#### ■ サーキュラーエコノミーへの貢献

当社は本講演を通じ、マイクロプラスチック問題の根本的解決と、世界的なサーキュラーエコノミー(循環型経済)の実現に貢献するP-Life技術の可能性を広く国際社会へ発信いたしました。現地での熱気と好意的な反応を受け、持続可能な未来の構築に向けた取り組みをより一層加速させてまいります。

#### ■ 代表取締役 CEO 富山 績 コメント

「当社のグローバル・コマーシャルディレクターであるブルーナ・フォルスターはブラジル出身であり、長年にわたり母国の環境保全とP-Life技術の普及に情熱を注いできた功労者です。今回のCOP30での登壇と成功は、彼女の不断の努力なしには成し得なかった名譽ある成果であり、当社としても彼女に対し最大の敬意を表します」

以上





COP30講演会の様子

Isolamento e avaliação da atividade de bactérias degradadoras de PP adicionadas de P-Life

Universidade Keio, Faculdade de Ciências e Tecnologia , Koichi, Ayaka Niki, Kenji Miyamoto

Strains capable of degrading plastics containing P-Life have been discovered in soil. The tests were conducted with PP, but the study also found that these bacteria are able to degrade PE as well.

**The identified species are: Cupriavidus sp., Camelimonas lactis, and Bacillus sp.2.**

5 µm

5 µm

Fig. 1 Electron microscope of the surface of a PP straw containing P-Life.  
Untreated straws [left] and microbial treated straws [right]

## ABOUT P-LIFE

The oxidative bio-assimilation catalyst **P-LIFE** was invented by **Isao Toyama** of **P-LIFE Japan Inc.** and by Programmable Life Inc. (USA).  
  
 The patent was renewed in 2022 (**JP No. 6777343**).  
**Eco Ventures** is the second-largest distributor of **P-Life** worldwide, accounting for **20% of global revenue**.

**Global Leadership**

The emergence of bacteria of the same genus in soils from different Japanese schools reinforces my conviction that P-Life works, to some extent, as a universal solution - capable of functioning in any environment.

**On the results of Keio University research**  
Isao Toyama

GOVERNO DO ESTADO  
AMAPÁ  
TRABALHANDO PELA AMAPÁ INTEIRO

**P-Life**  
ISAO TOYAMA

